

研究報告書(分担者)

厚生労働科学研究費補助金 (障害者政策総合研究事業)  
(総括(分担) 研究報告書

人工内耳装用児の療育手法と言語発達に関する検討

小渕 千絵 国際医療福祉大学成田保健医療学部・教授

研究要旨

「音声言語獲得に手話併用の優位性はあるか」のCQに対する解説を継続して検討・修正を行った。あわせて関連する海外書籍の翻訳を通し、人工内耳装用児の発達においては、療育手法とその内容の十分な検討が重要と考えられた。

A. 研究目的

人工内耳装用児が音声言語を獲得する上で、必要な療育手法や内容について検討した。

B. 研究方法

昨年度行ったシステマティックレビューに加えて、AV法に関する書籍をもとに、CQに対する解説内容の問題点や課題について分析した。

C. 研究結果

人工内耳装用児の言語習得においては、音声、書字などの多様な言語的側面を評価し、かつ体系的な指導が重要であった。

D. 考察

人工内耳装用児の音声言語獲得においては聴覚活用は重要といえるが、これに加えて生活全般を通して言語力そのものの向上を促す必要性が考えられた。

E. 結論

人工内耳装用児の言語習得のためには、様々な言語的側面に体系的にアプローチすることが重要である。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1) 佐藤友貴,小渕千絵,籠宮隆之,大金さや香,城間将江,野口佳裕,加我君孝.人工内耳装用児の話者の男女識別に関する検討.Audiology Japan 2020; 63: 181-188

2. 学会発表

- 1) 小渕千絵,大金さや香,佐藤友貴,菅波沙耶,佐藤綾華,安田友香,野口佳裕. 聴覚障害児の音読時における発話の韻律情報の分析. 第65回日本聴覚医学会総会・学術講演会, 2020.10.9, 愛知
  - 2) 山本弥生,小渕千絵,麻生伸,城間将江. 聴覚障害児におけるVOT識別の特性と語音明瞭度に関する検討. 第65回日本聴覚医学会総会・学術講演会, 2020.10.9, 愛知
  - 3) 安田友香,城間将江,小渕千絵,野口佳裕. 学齢児の複合語の獲得と使用—健聴児と聴覚障害児による検討— 第65回日本聴覚医学会総会・学術講演会, 2020.10.9, 愛知
  - 4) 佐藤綾華,小渕千絵,大金さや香,佐藤友貴,野口佳裕,菅波沙耶. 難聴幼児を抱える母親の養育態度とストレス状況が母子コミュニケーションに与える影響. 第65回日本音声言語医学会総会・学術講演会, 2020.10.10, 愛知
- H. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む。)
1. 特許取得  
該当なし
  2. 実用新案登録  
該当なし
  3. その他  
該当なし